

表紙裏（新しき世界へ 1970 年 10 月号）

正しい食物は神のみこころであり神のめぐみであります。神様は宇宙全体に、虚空全体にみちみなぎる生命であります。

私どもはその欠片にすぎません。この欠片の微塵が存在、生命を全うすることができるのは、まったく宇宙全体、神があるからです。

生きていることができなくなったり、苦しくなったりするのは、欠片がその分才を忘れたときなのです。正しく宇宙を、神を知り、自分の分を知れば人はかならず、楽しく、健康やかに、賢く、美しく、幸になります。そうなるほかないのです。

このことを知るのを食養というのです。

（食養人世読本より G・O）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください